



写真 方はアブラハムとイシュマエルによって かれたカアバ 殿、そして写真中央は 言者アブラハムの足 を残す、アブラハムの足 。

アブラハムによる祈りは、言者ムハンマドが（イシュマエルの民である）アラブ人として言者となったこと、そしてマッカが全人のための殿としてだけでなく、マッカ出身の言者が全人にして遣わされることになったことにより、数千年のになって しました。

いかなる民族や人にも囚われない、全人にとっての唯一なる真の神の崇の を \ する目的を果たしたことは、アブラハムの人生における でした。この殿の立によって、彼が呼びかけ、 牲を捧げ けた神は、いかなる神々をも同位者として べられることなく永久に崇 されることとなりました。 に、このことはいかなる人の上にも まれることのなかった 大なる恩 なのです。

アブラハムとハッジの巡礼

年一回、世界中のムスリムたちは老若男女を わず、アブラハムの祈りでもある巡礼の呼びかけに えます。その 礼はハッジと呼ばれ、神の を受けたしもべであるアブラハムと、その家族に起きた出来事を 念する行事です。ムスリムはカアバを周回した 、アブラハムがカアバ建 の に足 とした石である、アブラハムの足 方で礼 を捧げます。礼 の 、

ムスリムはアブラハムとハガルの祈りによってイシュマエルとハガルの乾きを すため
きでてきただけでなく、その も今日に至るまで土地の人々を し けてきたザムザムの泉
から水を みます。サファ とマルワの を巡回する 礼は、一人孤独に赤ん坊を助けようと
したハガルによる必死の探求を 念したものです。ハッジ中、ミナ においてだけでなく
、世界各地のムスリムたちによって 物を 牲として捧げる 礼は、神のため自らの子さえ
も 牲に捧げることを わなかったアブラハムの行いから来るものです。そして、ミナ の
柱への投石の は、イシュマエルの 牲を めさせようと いた 魔の 惑を拒 したアブラハムを
模 するものなのです。

“われはあなたを人々の としよう”

と神が述べられた「神の を受けたしもべ」は、パレスチナへ り、その地で逝去しまし
た。

脚注：

1

クルア ン2： 1 2 4

この 事のウェブアドレス：

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/300>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。